



2013 年(平成 25 年)1月 20 日(土)発行

新年にあたって

理事長 松崎和敬

明けましておめでとうございます。

新年にあたり、昨年の活動について振り返りながら今年の進め方について考えていきたいと思いますが、先ずその中で昨年の活動に新たに加わった主なものを列挙してみますと次のとおりです。

- 1/13～14 日本自然保護協会と本会と共催で行うことにした「自然観察指導員講習会」の進め方について NACS-J スタッフと打合せを行い、講習会の具体化に向けた活動に着手。
- 1/16～ボランティアポふるしまメンバーによる「東北まち物語紙芝居化 100 本プロジェクト」支援のため活動を開始。
- 2/12 トチギ環境未来基地が仮設住宅居住者向けに行うプランター作り活動に対する指導と支援を実施（以降月 1 回実施）
- 2/20～21 プロ野球の森整備事業について、専門講師による研修会を開催し、今後の進め方について協議。
- 3/3～5 第 1 回東北（福島）紙芝居巡業に対する支援活動。
- 3/9～11「第 451 回 NACS-J 自然観察指導員講習会」を開催、全国から 44 名受講。（NACS-J と NPO との共催は全国初）
- 4/15 筑波大学田村先生による放射能講習会開催。併せて森林除染等についての進め方の指導を受ける。
- 4/19 役員会において会誌発行を決定。当分の間は年 4 回発行とする。
(会誌ヤマザクラ創刊号 5/22 発行)
- 5/19 ろうきん森の学校 3 地区復興支援イベント」開催。
- 5/27 プロ野球の森設定記念イベント開催。
- 6/9、6/23 県外ボランティアが行う新舞子海岸林の整備と植樹活動の支援と実施。
- 6/20 トチギ環境未来基地と本会が共同して取り組む「苗木 for いわき」のキックオフイベント in トチギ開催。
- 6/26～27 国土緑化推進機構が行う幼稚園児童向けの事業「ドングリプロジェクト」を支援
(植樹後の保育活動支援を 2 年間実施予定)
- 9/14～17 埼玉大学荒木先生（植生）の教室の学生達と勉強会開催
(今後年 2～3 回湯ノ岳をフィールドとして実施予定。筑波大学田村先生（土壌）、上条先生（植物）、埼玉大学浅田先生（木育）に追加される形となる。)
- 9/27「苗木 for いわき」キックオフイベント in いわき開催。
- 10/1 環境まちづくり担い手育成支援事業（里山再生啓発事業）の業務委託をいわき市より受託。
里山再生整備を通じた市民参加型の啓発事業を 10/1～3/25 の間実施することを決定。
- 10/2 木工クラブ活動を月 2 回の定例活動として取り組むことを決定し活動を開始。
- 12/9 ふくしま紙芝居まつりに対する活動支援。

以上数多くの新しい事業に取り組むことになりましたが大半は今回の震災に関連したものでした。このなかで、未経験ということもあり、かなりの時間を費やした紙芝居関係以外は、私達が従来から取り組んでいる森林関係のものでありますので、本来の活動の中に取り組みながら今後も継続して育んでいきたいと思っております。

昨年を振り返って感じたことは、野外とくに森の中での活動が想像以上少なかったことでした。今回の震災を経験して「動物の一種である人間としての生きる力」の必要性を痛感し、そのためには、とくに若い人達に対して自然体験活動の機会を従来にも増して意識して取り組む必要性が認識されていたにもかかわらず、不十分な結果となってしまいました。

最大の理由は、放射能に対する不安が、いわき市のような大半が低線量のところでも未だに払拭しきれないことだと思っております。

放射能の問題は専門家の間でも意見が必ずしも統一されておらず、むずかしいことが多くありますが、日本国全体が被曝されているという現状を踏まえてどうすべきかを考えていく必要があると思います。私達の会としてどうすべきかということは決められませんが、自然体験活動、野外活動等を希望される方々に対しては積極的に対応していきたいと思っております。

今年からスタートする事業として湯ノ岳生産森林組合の所有林を市内の林業事業体が間伐等の整備を行うものを本会としてサポートすることというものが加わります。

従来からの森づくり活動、自然観察会、環境教育支援、プログラム開発事業等のなかに昨年加わっ

森林整備班の活動 (担当) 桑原敏和

定例整備作業日は、毎週水曜日と第1・第3土曜日に活動しております。(活動期間: H24.10.20~H25.1.20)

主な活動内容は下記一覧表に通りになります。

森林整備班活動一覧表 (H24.10.20~H25.1.20)

No	月/日	曜	実施事項	名
1	10/20	土	里山再生整備啓発事業指導員として	6
2	10/27	土	戸渡遊学の森倒木整備	4
3	11/14	水	21 森下刈り・地ごしらい他	6
4	11/17	土	里山再生整備啓発事業指導員として	6
5	11/21	水	21 森下刈り・地ごしらい他	5
6	11/28	水	〃	8
7	12/1	土	育樹祭・里山再生整備啓発事業指導員	10
8	12/5	水	湯ノ岳植樹作業(ヤマザクラ 50本)	5
9	12/12	水	炭焼(窯大・小、出し・入れ作業)	7
10	12/15	土	観察歩道3コース補修(ピオトープ)	6
11	12/19	水	山荘北斜面下刈り作業	6
12	12/26	水	整備工具倉庫清掃・工具点検整備	6
13	1/5	土	観察歩道安全確保(危険木調査)	2
14	1/9	水	観察歩道安全確保(危険木伐倒)	5
15	1/16	水	観察歩道安全確保(危険木伐倒・枝切)	4
16	1/19	土	里山再生整備啓発事業・ 竹林整備指導員他	21

今年は、フィールドの安全確保を重点に、観察歩道周辺の危険物(枯れた立木・枯れ枝等)を取り除く作業を定例整備で実施したいと思っております。

定例整備は湯ノ岳山荘集合が基本となります。作業時間は9:00~12:00です。

森林整備に興味のある方はお待ちしております。

尚、整備場所によっては集合場所が変更する場合がありますので山荘にお問い合わせ願います。



放置栗林の整備

(担当) 佐藤行年

機械による植え付け実験地の整備を実施しました。

整備箇所は、20年以上も放置された栗林0.47ha(計画面積1ha)を行いました。

期間は10月に着手・12月14日まで、作業実施19日、41人で整備を終えることが出来ました。

整備地は、想像以上に藪化した場所でした。

特に、ノバラは我がもの顔でのび放題に枝を張り太さ3cm以上にも育って、服装等完全防護の作業でした。

また、伐倒作業はふじ蔓が樹木にからまり労力は想像以上でした。

この整備作業に携わり、里山森林整備の重要性と多くの労力を必要であることを、身を以て体験できました。

目的である、機械植え付け実験面積は確保できました、機械による植え付けは3月初旬の予定で、是非見学下さい。



整備前の栗林



整備後

平成24年度

里山再生整備啓発事業

主催：いわき市生活環境部環境企画課

*本会が受託団体として実施します。

目的は、放置され荒廃している里山の再生整備を通じ、参加者の環境保全に係る意識醸成を促すとともに、次世代の環境保全活動の担い手育成を目的として、平成24年度里山再生啓発事業を開催するものです。

第1回広葉樹林の手入れ

(1) 日時 H24.10.20(土)

9:00~12:00

(2) 場所と参加人数(計18名)

・湯ノ岳山荘駐車場南斜面広葉樹林

3班編成(1班・指導者1、参加者3~4)

・ろうきん森の学校入口南斜面

2班編成(1班・指導者1、参加者3~4)

(3) 整備内容 株立整理と劣性木の整理を実施。

伐った木は玉切り林内に整理した。



理事長より参加者に事業の内容等を伝える

○広葉樹林の手入れをして

広葉樹林の手入れ後、見通しが良くなった。林床まで太陽の光が入り明るくなった森林を実感した。



作業スナップ

第2回広葉樹林の手入れ

- (1) 日時 H24.11.17 (土)
9:00~12:00
- (2) 場所・湯ノ岳山荘駐車場南斜面広葉樹林
- (3) 参加者 15名
- (4) 整備内容 株立整理と劣性木の整理を実施。
伐倒木は玉切りし林内積んで整理した。



伐倒作業(地上約1mで切り倒す)本日の成果140本

第3回藪化している放置林の手入れ

- (1) 日時 H24.12.1 (土)
9:00~12:00 (いわき初雪の日)
 - (2) 場所・21世紀の森(山火事跡地)
 - (3) 参加者 41名
 - (4) 整備内容 下刈作業及び育樹作業
- 山火事跡地の笹等を手鎌により刈払い、植樹前の地ごしらいを実施した。



捨場での作業が思った以上の労力だった



12/1下刈作業スナップ

第4回モウソウ竹侵入林の整備

- (1) 日時 平成25年1月19日(土)
9:00~12:00
- (2) 21世紀の森(プロ野球の森に設定された所)
- (3) 参加者 37名
(参加団体:いわき市環境企画課・公園緑地課、
NPOいわき竹プロジェクト、一般募集の方、本会員)
- (4) 整備目的:放置されたモウソウ竹が約1万本
広葉樹林に侵入した林で、モウソウ竹を全伐、
広葉樹林を再生させる整備作業を実施しまし
た。
- (5) 作業内容
 - a. NPO法人いわき竹プロジェクトより、作業の安全
対策、竹の伐倒のしかた等説明を受けて整備作業
を行った。
 - b. 作業分担:伐倒作業・捨場までの運搬作業・捨場

木工クラフト班活動について

平成10月2日(火)に第1回開催後下記活動一覧表の通りクラフトを楽しんで活動しております。

活動は、月2回の定例活動として取組みます。

(木工クラフトに興味のある方は山荘にどうぞ)

木工クラフト活動一覧表

No	月/日	曜	実施事項	名
1	10/16	火	桧のバターナイフ作り、*	6(2)
2	11/6	火	桧のフオーク作り、*	7(3)
3	11/20	火	桧のスプーン・箸、*	7(2)
4	12/4	火	リース(藤・アケビ蔓)松、樅	8(3)
5	12/11	火	ミニ門松(竹、松、南天、梅)	10(2)
6	12/18	火	菜箸(モウソウ竹)	6(2)
7	1/8	火	箸作り	5(3)

参加人員(指導者)



12月4日実施されたリース作りメンバー(担当)桑原敏和

農作業、秋の活動報告

農作業班 太田 満

1. 収穫作業

- (1) さつま芋、落花生、大カブや白菜など秋冬野菜の収穫作業を予定通り行いました。
- (2) 猪の侵入による作物の被害もなく無事終了しました。
フェンスの設置による効果が確認されました。



2012(H24).5月に設置した、イノシシ防御柵

(3) 好間冬水田圃脱穀作業

好間町川原子作にある冬水田圃の水稻の脱穀作業を実施しました。

- (a) 日時 平成24年10月28日(日)
9:00~10:00

- (b) 参加者(地主:木田様の指導と脱穀機で作業)
参加者8名

天候が心配でしたが、脱穀と稲藁を細かく切断水田にまく作業まで予定通り終わることができました。

作況は「良」との結果でした。



脱穀作業 2012(H24).10.28

2. 天候不順の影響

8月に3週間ほど雨が降らず、日照りが続いたため発芽不良や虫害により、大豆の収穫が出来ませんでした。

3. 籾殻運搬と畑への散布

畑の土壌改良用に今年も籾殻の搬入をしました。
(軽トラ10台分)
なお、隣の高木さんの畑に1台分の籾殻を提供しました。
(土壌改良用に今年も籾殻の搬入しました)



籾殻を畑に搬入作業 2012(H24).12.10

4. その他

- ・ブルーベリーは例年になく豊作でした。
- ・大カブ(2品種)を栽培し、千枚漬けにする。
- ・草刈り、農道の補修作業などを行う。
- ・地主さんへ収穫野菜を届ける。

5. 今後の予定

- 1) 畑の寒起こしなど春作の準備。
踏込み温床作り。(1~2月)
- 2) 3月、ジャガイモ植付け、さつま芋苗作り開始など。
- 3) 草刈り、農道の補修。



今年の初仕事、寒起こし作業 2013(H25).1.7

自然体験学習の支援活動

プログラム開発グループ 野口紘

10月～12月の活動は、震災後原発放射能問題で滞っていた総合学習が若干復活し一部日程的に余裕がなく対応に苦慮しました。実施結果、各担当の先生方には感謝されました。

また、いわき明星大学 科学技術学部の「環境教育 自然体験プログラム」集中講座を4回開催しました。

今後ともに 安全第一「五感で感じる 自然体験活動」を基本に各小中学校の先生方が行う環境教育に対する支援活動に取り組んでいきたいと思えます。

活動を通して子供たちと接し「楽しく 元気なエネルギーに触れ合う」事が出来ますので、興味をお持ちの方は、是非毎週木曜日 9:00～の研修会に参加し、楽しい時間を過ごして見ませんか。お待ちしております。

○学校学習支援活動表 (いわき市立小学校)

(表1)

NO	年月日	曜	学校名	年	学習名	名
1	24.11.05	木	江名小	6	理科	28
2	24.10.24	水	錦東小	1	生活科	21
3	24.10.25	木	江名小	6	理科	28
4	24.11.02	金	中台北小	4	理科・総合	86
5	24.11.05	月	錦東小	1	生活・交流	60
6	24.11.08	木	江名小	2	生活科	20
7	24.11.09	金	綴小	全	森林環境	82
8	24.11.12	月	中台北小	4	理科発表	29
9	24.11.13	火	上遠野小	3	理科・総合	33
10	24.11.14	水	田人第2小	2	総合学習	10
11	24.11.15	木	中台北小	4	理科・総合	87
12	24.11.22	木	江名小	1	生活科	19
13	24.11.29	木	江名小	2	生活・交流	38
14	24.12.06	木	江名小	1	生活・交流	36

(中台北小=中央台北小学校) 名: 参加児童人数

○いわき明星大学

科学技術学部学習支援活動 (表2)

NO	年月日	曜	支援内容	名
1	24.10.05	金	学校林整備・リーダー講習会	15
2	24.10.12	金	〃	15
3	24.10.13	土	第1回環境教育自然体験P講座	89
4	24.10.19	金	学校林整備・リーダー講習会	13
5	24.10.26	金	〃	19
6	24.10.27	土	第2環境教育自然体験P講座	87
7	24.11.10	土	学生リーダー講習会	5
8	24.11.16	金	学校林整備・リーダー講習会	13
9	24.11.17	土	第3環境教育自然体験P講座	77
10	24.12.07	金	学校林整備・リーダー講習会	10
11	24.12.08	土	第4環境教育自然体験P講座	29
12	25.01.11	金	学校林整備	4
13	25.01.18	金	学校林整備	5

○筑波大学大学院生命科学研究所調査支援

NO	年月日	曜	場所	項目	名
1	24.10.08	月	湯ノ岳	森林植生調査	1
2	24.11.01	木	〃	〃	1
3	24.11.24	土	〃	森林土壌調査	2
4	24.11.25	日	〃	〃	2
5	24.12.13	木	〃	〃	3
6	24.12.29	金	〃	〃	2
7	25.01.06	日	〃	〃	2

: 調査協力支援人数

○視察研修

NO	年月日	曜	場所	視察団体	名
1	24.10.30	火	香川県	NPO どんぐり ネットワーク	5

今後の活動について

(1). プログラム研修会 (毎週木曜日 9:00～)

(2). 各小中学校 学習支援活動 調整中

(3). 木育学習支援

藤原幼稚園 1/31 (木) 湯本第1幼稚園 2/14 (木)

(4). いわき明星大学「学校林整備 学生リーダー講習会」毎週金曜日 9:00～

(5). スキルアップ講座

・森林ガイドの実例とその基礎調査について
講師 (埼玉大学 荒木裕二准教授)

2/18 (月)～19 (火) 湯の岳山荘にて

○主な小学校学習支援活動 若森秀樹

No7. 綴小学校森林環境学習支援

(1)実施月日 平成24年11月9日(金)

(2)テーマ 森林環境学習

(3)参加児童数 82名 (全校生児童)

内訳は、内郷の綴小学校1～6年の児童73名、先生9名、合計82名が、バス2台で湯の岳山荘を訪れました。

(4)実施内容

- ①1、2年生：森で落ち葉や木の実を拾い、どんぐりコマ、松ボックリ人形、落ち葉のシオリを作りました。
- ②3、4年生：秋を探してコース1、2をゆっくり歩き、見つけた秋を写真に撮り、俳句をつくりました。
- ③5、6年生：森の仕組み・役割を学ぶ自然観察のあと、土壌の吸着実験を行いました。



人形作品展(どんぐりコマ、松ボックリ人形)

No12. 江名小学校1学年生活科・学習支援

(1)実施月日 平成24年11月22日(木)

(2)テーマ 秋を探そう、なにが見つかるかな。

(3)参加児童 1年生17名

(4)実施内容

探した秋でおもちゃを作ろう。

校庭を散策したのち、①どんぐりマラカス、②葉っぱのカンムリ、③どんぐりコマ、④松ぼっくりケンダマを作りました。来週は覚えたおもちゃの作り方を幼稚園児に教え、一緒に遊ぶ予定です(1学年17名)。



○主ないわき明星大学学習支援活動

若森秀樹

1. 自然体験活動研修会(前半)

(1)実施月日

①2012(H24)10.13(土)

②2012(H24)10.27(土)

(2)実施内容

いわき明星大学の科学技術学部の3年生を対象に、自然体験活動のリーダーになるための研修会を行いました。これは、将来教職につくときのための正式授業で、履修単位授業です(約70名受講)。

全4回の研修ですが、前半2回はどちらかというところ知識中心で、後半が体験活動の実践となります。

①第1回 先ず野外活動の体験です。上級生のリーダーが引率し、自然観察会を実演します。

森を遠くから見た後、近づいてマントを観察。セルフガイド板の説明。



セルフガイド板の説明実習。

続いて、教室で森の仕組み、自然体験の意義、野外活動の安全対策などの講義。

②第2回

”学校林の地質と水環境”の講義と、現地での観察会。



学校林での地質の観察会。

2. 自然体験活動研修会(後半)

(1)実施月日

③2012(H24)11.17(土)

④2012(H24)12.08(土)

(2) 実施内容

研修会の第三回は、いよいよ自然観察会の実践です。午前中はリーダー中心の野外実習で、各人がテーマを探してプログラムを作り、午後には実際の観察会を、観察コースで実践する計画です。

第四回は、午前は吉田真弓先生によるいわきの植生の講義と、学校林の植生観察。午後は、いわきの森に親しむ会理事長による解説板の活用の仕方や、今後の学習の進め方などについての講義がありました。



林内での実習

③第3回

各班に別れて野外実習。リーダーの説明を聞きながらテーマ探し。

各人の興味あることを付箋に書き出し、グループテーマを決めます。

ところが、午後は生憎の雨、室内での模擬観察会になりました。

余った時間でネイチャーゲーム、目かくし・手触りで形を調べ、黒板に描きます。お見事！ソックリです。

④第4回

吉田先生の植生の講義。観察コースの尾根部で陽樹・陰樹、海岸部・阿武隈丘陵の植生などの解説。又、分光器で、葉っぱが光のどの色を吸収するかを見る実技を体験しました。

紫外線で発色する絵の具を紙に塗り、葉っぱの紫外線遮断を見る。

学校林の谷に下り、陰樹や人間の里山 利用の跡を見確認した。

○以上自然体験活動の支援と体験学習フィールドである学校林の整備を（表2）の通り支援してきました。

21世紀の森育樹祭

(1)日 時 平成24年12月1日(土)

9:00~12:00

(天候は、小雨で冷え後にいわきの初雪の日でした)

(2)場 所 21世紀の森

(3)参加者 111名

(4)内容

(a)植樹は補植(ヤマザクラ)を主に行いました。

(b)自然観察会

以前植樹された樹木の手入れを含めての観察。



植樹作業

植樹された樹木の手入れを含めての観察会

○雨で足場が安定しない現場と、雪と寒さも加わりましたが無事故で終了出来ました。

湯ノ岳山荘の弱点

山荘では、11月~12月にかけて運営上大ピンチとなりました。今でもその影響を受けています。

それは、極端な渇水による飲料水及び、生活用水確保が困難となったことです。

ご存知の通り、山荘の水源は湯ノ岳の沢から取水し浄化しております。今年は、降水量が少なかったことが大きな原因であると思っております。

特に、降水量が期待できる台風は、昨年9月末から10月にかけて日本に上陸した台風17号でさえ、湯ノ岳の沢に水量が戻る程の降水量に達しませんでした。

この水不足は山荘の最大の弱点なのです。これを解消するため山荘では雨水活用設備を備え一部のトイレに活用しておりますが、残念ながら飲料水への利用には至っておりません。

いわき地方は、3月まで異常乾燥期で雨が期待出来ません。

今のところ決定的な対策はありません。

身近な対策として、常に水は大切に節水に努めることであると思っております。

皆様のご協力お願い致します。

ろうきん森の学校

(10月~1月)

若森秀樹

1. 実施月日 平成24年10月21日(日)

(1) 実施内容

①キノコ勉強会②食事会

(2)参加者 18名

(今回は、初参加の家族二組、
うち小学生1人がありました)

(4) 実施結果

キノコ勉強会は、県道(パノラマライン)の向こう側の森から、丸山公園をまわり、最後に山荘のキノコ栽培を見学し、収穫して帰りました。最高の天気にも恵まれ、美味しい料理も満喫しました。



キノコの仕分・同定作業 多彩な料理を前に料理班

2. 実施日時 平成24年11月18日(日)

(1) 実施内容

① 自然観察会、②森林セラピー体験、
② ソバのオヤキ作りと食事会

(2)参加者 19名

(今回は、労金連合会(東京)から糸谷部長、丸山さんを迎え、参加者も新しい顔ぶれの方が多く、担当者も張り切った森の学校となりました)

(3) 実施結果

秋たけなわの晴天下、コース(3)→(1)→(2)とほぼ全周し、途中セラピー広場で森林セラピーを体験しました。



森林セラピー体験・木の下で、静かに自然を体感。

N3. 実施日時 平成24年12月16日(日)

(1) 実施内容

① 自然観察会、②蕎麦の収穫祭

(2)参加者 43名(ボーイスカウト12名を含めて)

今回は、ボーイスカウトの元気な男の子と関係者、新しい顔ぶれの多彩な参加者でした。

(3) 実施結果

当会で収穫したソバによるソバ打ち体験、キノコ料理などご馳走の数多く、研修室が満員で熱気むんむん、大いに盛り上がりました。



(ソバ打ち体験)先生の模範演技

○ソバとトチギ環境未来基地の方が作る、宇都宮市名産”みんみん水餃子”も人気でした。

4. 実施月日 平成25年1月20日(日)

(1) 実施内容

①自然観察会②ネイチャークラフト・花炭作り体験 ③野外料理体験。

(2)参加者 18名

(3) 実施結果

①観察コース樹木ウォッチングNo札を確認。

(不備を改修、観察会に備えることにした)

②花炭焼きの勉強会を実施、焼き方の再確認。

(花炭材は焼き缶に同じ種類を入れることがポイント)

③今回は、山海の食材による料理を体験する。

(シラスご飯、キノコ汁、お焼き、サラダ、キムキ等)



NO35 観察コースの樹木ウォッチングNoの点検

うつくしま 21 森林づくり活動発表交流会

(1) 開催日 平成 24 年 10 月 27 日 (土)

13:00~16:00

(2) 場 所 (南会津町) 御蔵入の里会津山村道場

(3) 参加者 4 名 (松崎、木田、菅野、伊藤)。

a. 記念講演

「感動体験が未来を創る種となる」

講師 下村一裕 氏 (NPO A.R.S. 副理事長)

「講演要旨」山村での教育旅行の受け入れの課題。南会津の次世代である子供達育成。

その子供達の成長が地域づくりの大きな力となり、山村文化を継承し、森林業への就職や、地域間交流を発展させる鍵となる事例について、紹介がありました。

b. パネルディスカッション

テーマ「山村文化と森林づくりを活かした都市との交流」の中で、本会活動について松崎和敬理事長より発表、その要旨は

(1) 市民の森づくりについて。

里山における観察コースの維持管理を実施し、里山での自然体験活動が安全に楽しく行うことの出来るフィールドの整備づくりについて。

また、山火事跡地 (5ha) への植樹及び育樹作業の実施と、里山の景観維持を主たるネタとした田んぼ・畑作業について。

(2) 森とのつき合い方の勉強会、プログラム開発について。

自然体験・環境教育プログラム開発と、これらの指導者養成 (森づくり技術を含めて) について。

(3) 自然案内人の養成並びに

インタープリテーション活動。

(4) 森林や林業に関する啓蒙。

(5) 森に関する各種情報の地発信。

について発表されました。



交流発表会会場

草野秀雄さんおめでとうございます

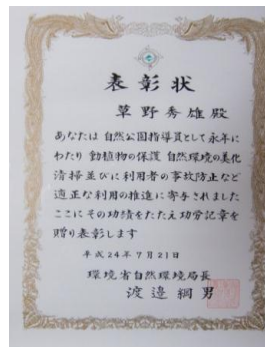
草野秀雄さんは、環境省自然公園指導員として長年の功績を認められ、

平成 24 年 7 月 2 日環境省に於いて環境省自然環境局長表彰を受賞、賞状と功勞記章 (金バッチ) を受賞しました。

草野さんは、平成 12 年 (2000 年) 4 月 1 日に 4 月環境省自然環境局長より「自然公園指導員」を委嘱され現在に至っております。



草野秀雄さん



環境省自然環境局長賞状

活動地区と内容は、磐梯朝日国立公園の裏磐梯特別保護地区の五色沼・雄国沼を主に、公園利用者に対して公園利用の際の遵守事項、マナー、事故防止等の助言及び指導をおこなうとともに、情報収集及び提供を行っております。

草野さんは、「日本野鳥の会」に所属して、「バードウォッチング」に裏磐梯に通い数多い野鳥と自然の素晴らしさを知り後世に残したいと、自然公園指導員として活動するきっかけとなったとの事です。今後の活動を祈念しお知らせ致します。

(参考):本会では、平成 22 年 5 月 23 日「第 61 回全国植樹祭」に於いて、松崎和敬理事長が国土緑化推進に対して、林野長官より感謝状を頂いており、会員の国よりの表彰が 2 例となりました。



裏磐梯より磐梯山

特別寄稿

東日本大震災後、多くのボランティアの方々が湯ノ岳山荘を利用して頂きました。本会では、山荘利用のボランティアの方々の後方支援活動を行って来ました。九州看護福祉大学の方々もその一団体です。今回、いわきでボランティア活動された学生さんから本会に特別寄稿がありましたので会報に掲載しお知らせいたします。

東日本大震災復興支援

ボランティアの活動を通して

九州看護福祉大学 介護福祉学部

社会福祉学科3年 渡邊 綾

○活動報告と活動からの学び

私は、2012年8月5日から10日まで、福島県いわき市におけるボランティア活動に参加しました。

この活動を通して、私自身では想像ができない被災地の現実を知り、驚くことができました。しかし、多くの学びがありました。

まず、私が東日本大震災復興支援ボランティアに参加したかった理由は次の2つです。

1つ目は、この震災を他人事ではないと思ったからです。私は、震災の様子を報道番組で見ました。このような大きな災害を初めて見て、衝撃を受けたが、同じ日本で起こっていることだから、何らかの形で役に立ちたいと思いました。

2つ目は、私が社会福祉を学んでいる学生であり、福祉分野で支援をしたいと思ったからです。福祉分野も支援の中心になることを大学で知り、私にできる範囲で支援に関わりたいと思いました。

主な活動内容は、被災地視察と公民館や集会場で玉名市の薬草を使ったお茶と足湯を提供しながら交流を図るサロン活動でした。被災者の方々の話から強く感じました。

震災発生前は湧き出ることがなかった、つらさや恐怖、不満や不安などの感情が被災後、日々を経るごとに被災者の方々の心に大きな傷をつけて

この避難者は、長期間にわたり、いわき市に住むと考えられるため、いわき市民のコミュニティの再構築が必要であると感じました。

被災の人々は私たちに明るく元気に振舞い、復興に向けてすこしずつ、気持ちが前向きになったと話してくれました。

このように、私たちが被災者と時間をかけて向き合い、暖かい雰囲気の中で接することで安心感を与えることは、彼らの負の感情の緩和につながるのではないかと考えます。

また、被災者の方々は、自分が抱えている気持ちや想いを、私たちが「学生」という専門職ではない存在だったからこそ、語ってくれたのではないかと思います。その語りを聞き、被災地を訪れた人しか感じることが出来ない雰囲気や被災地の様子を体験していない人々に伝えたいと強く思います。

そして、私たちは被災地と遠く離れた熊本とをつなぐ役割を果たしたいです。被災者の方々が抱えている想いに加えて、私たちが抱いた想いを共有できる場を作っていきたいです。

○このボランティアで経験したこと、感じたことを熊本の地でどのように伝えていくか……

私は、今回を含めて、計2回のボランティア活動に参加しました。その中で感じたことや現地の様子などの経験を多くの人々に発信していくことが私たちの大きな使命であると思っている。

そこで、私たちが生活している熊本で出来ることは、ボランティア活動を通して被災者の方々と交流をした中で見たり聞いたりしたことや私たちの活動記録や抱いた感情を整理し、多くの方々に発信することであるとする今日の体験を発表する場として、大学の学園祭やボランティアフェスティバルの中で時間を設けてもらいました。

私たち「学生」が出来る被災者支援は、その場で震災発生後、1年半経ったいわき市の移り変わりや報道等では取り上げられない事実を多くの人に伝え、被災者の方々の想いを知っていただく役目を担うことだと思います。

最後になりましたが、過去3回にわたるボランティア活動にご協力くださいました皆様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

今後もしわき市で活動をさせていただく際には、よろしく申し上げます。

****お知らせ****

味噌作り体験者募集 (担当) 菅野貞夫

手作りおいしい味噌作り体験教室を実施いたします。興味のある方は、ふるって参加ご協力してください。

1. 実施月日・作業内容、作業時間、人員。

(1).2月1日(金)

大豆洗い、1昼夜水に浸す、麴、塩、樽の準備
時間 13:00~15:00 人員 2~3名

(2).2月2日(土)

大豆を3つの鍋で煮る、豆をつぶし麴と塩を混ぜる。

時間 9:00~16:00 人員 4~5名

(3).2月3日(火)

大豆を3つの鍋で煮る、豆をつぶし麴と塩を混ぜる。

時間 9:00~16:00 人員 4~5名

2. 場所:湯ノ岳山荘厨房・研修室・2階大倉庫。

3. 数量:2斗(30kg)の大豆を2日に分けて、味噌桶に仕込み発酵・熟成させる(秋まで)

4. 販売:熟成後、1kgの小袋に分けて会員へお譲り致します。(金額は後日お知らせ致します)

5. 協力できる方は、山荘掲示板の氏名を記入ください。不明な事項がありましたら担当菅野迄連絡ください。

森林整備のお知らせ (担当) 佐藤行年

放置栗林、約0.5haの整備予定日が決まりましたのでお知らせします。森林整備作業はチェーンソー・刈払機・手道具での作業です。森林整備を経験したい方や興味のある方は是非参加協力をお願いします。

栗林整備作業予定日

(1) 1月

17(木)、18(金)、24(木)、25(金)、31(木)。

(2) 2月

7(木)、8(金)、14(木)、15(金)、21(木)、22(金)、28(木)。

(2) 3月

7(木)、8(金)、14(木)、15(金)、21(木)、22(金)、28(木)、29(金)。

・雨天の場合中止。

・会の行事優先とします。

・不明な事項がありましたら山荘まで

編集後記

先日、東日本大震災津波の襲来地に行ってきました。

被災地のことは知っていたはずなのに、街並みは無く、以前は眺めることが出来なかった鳥居が見え、変わりはて震災前の風景が思い出せなくなってしまいました。

夏に訪れた時は一部が、塩分をものともせず緑になっており、植物の逞しさを感じておりました。

だが今では、枯草の中にコンクリート土台、家が無い玄関への階段、住んで居られた方は今何処にと辛くなり、悲しい現実です。

足元には、緑のツメクサ、夏遅しく青々と茂っていたが今では枯れたススキ、ヨモギ、アカザ。そして、アメリカセンダングサ、オオマツヨイグサ、セイダカアワダチソウ、オナモミ、ヒメムカシヨモギ等々繁殖力の強い帰化植物が目立ちます。

私は、この地がこれからどのような植生や景色が見られるのか、被災地の早急な復興を願い植生遷移を見守っていきたいと思っております。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 松崎和敬(編集担当者) 伊藤貞夫

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2

湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://www16.plala.or.jp/goan/